

平成25年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

## 2 城下町萩の地誌(六)

—阿武郡萩市中故事—

心國の母身に

一 去程後杯つたこの心國の母身

あま

一 妙多院の心二十一の母身 妙多院

心の母身 中

妙多院の母身 中

妙多院の母身 中

妙多院の母身 中

卷八

唐武宗倉敷源才柳枝

一 大倉敷之拾 二階倉敷

一 振幅源才

天守曲編地後二千間源才五人

兵中依右門之曲編地馬十六門源

才七以人右同形

一 多門敷七

外之本九門一丁守曲編地一三

一 瓜丸天守曲橋之曲橋云々曲橋  
二 曲橋海子之口同仕也の二

幸の如くも  
唐の如くも

保 百字

一 定為原年以代二為但人其三乘年官  
其法以空 以律以借二 以方以多為假  
其法以但人其三乘二代 以律以空以代  
其法以空以代

左通以三乘

左通以三乘

左通以三乘

左通以三乘

故筆拾遺

市城七ヶ郎番取

身馬傷口云取席古戸口一  
取松木下門下取湯屋口一  
ヶ郎一ヶ郎西倉口一ヶ郎  
時川右近島一ヶ郎

又七ヶ郎

所古考年

西馬場

寺田

星嘉坡後街門牌下

字號之志也

第百廿九

一ヶ郎

故筆拾遺

一 寔文十丁子口一止漢倚

食共來中

後百集

十  
二  
力

十二月廿六日  
一 日本新聞、神皇正統記、  
降車、降山

十  
一  
九  
年  
四  
月  
十  
日

一 蘇州志

一 國史の母書

一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟  
一 蘇州の古蹟



岩の佐與しと綴り海流多し乳以下  
しり、熟回し物、朝野多し、のり多しと  
俗名、暑く多し、たのしみ多し、物多し  
岩の佐與しと綴り海流多し乳以下  
しり、熟回し物、朝野多し、のり多しと  
俗名、暑く多し、たのしみ多し、物多し

平家集十

於秋中、月形、喧嘩、去外  
ふ、意、之、後、之、物、只、搦、長  
三、次、身

一 湯江口 差田半人組

但如河津合(三)

一 松本口 佐世九人組

但希老(三)

一 新着古井 井本老(三)

霧の掛 霧の金帯の組  
大倉坂口 何の作を組  
橋に渡ると 柳屋の組  
玉に渡ると 山内を組

を執務の口に出し 案を角の合ハ  
友の案を付請口 一方の組の  
中居の組の案を付請口

執務の案は  
一渡の案は  
今この案の由る法原  
板と中の案は今  
おたの渡案は  
案戸の案は  
案の案は

乃曰難の事、其終りの程、  
何れ考ふるに、其沙汰は、其  
法、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
人、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの

付、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの  
中、其終りの程、其終りの

勝男の在る事  
柱を以て其の  
末走りにて  
少くも其の

新屋雜記六

寛文十三年二月の如き二年一月迄

書し候

一 在り候事  
此の如き事  
此の如き事  
此の如き事  
此の如き事  
此の如き事  
此の如き事  
此の如き事  
此の如き事  
此の如き事

一、第... 物... 屋... 多... 比... 及... 一... 院... 事... 方... 一

一、第... 物... 屋... 多... 比... 及... 一... 院... 事... 方... 一

昔の如くは、  
今もまた、  
心も、  
身も、  
世も、  
人も、  
何れも、  
無常なるを、  
悟りて、  
解脱すべし。

一 空の如く

一 空の如く、  
心も、  
身も、  
世も、  
人も、  
何れも、  
無常なるを、  
悟りて、  
解脱すべし。